

ナッジを活用した「見える化」

高所作業基準の「見える化」

工場内作業時、その作業が高所作業かどうか一目でわかるよう、工場内柱に高所作業基準ラインを引いて「見える化」した。これにより、周囲の作業員も、その作業が高所作業かどうか一目でわかるようになった。また、基準ラインを大きく表示していることにより、離れた所からでも他の作業員が安全な状態かどうかを、常に確認することが出来る。
※労働安全衛生法では、2m以上の高さで行う作業のことを高所作業と定めているが、当社では1.5m以上を高所作業基準とし、より災害リスクを低減する運用としている。

当社では1.5m以上を高所作業基準とし、労働安全衛生法より災害リスクを低減する運用としている。



高所作業基準ラインより下で、作業しているのが、一目でわかる。

